

むかいがおか
出張所 × まちづくり
アイデアカイギ

第1回

コロナ以降の社会でも大切にしたい地域像を考えよう

2020年10月11日（日）
10：00～12：00 | 13：30～15：30
向丘出張所



当日プログラム

開会・あいさつ

オリエンテーション

グループワーク | コロナ以降の社会でも大切にしたい地域像を考えよう

- ・コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、
まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」を出し合おう
- ・「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージを出し合おう

発表・まとめ・閉会

各グループで出された主な資源や課題とグループ発表のポイント

[午前部]

むかいがおり アイデアカイキ 2020年 10月11日 AM

《グループ発表》

1. 平坦な場所 → 出展新 ITe

2. JOTが → 活動できる

3. 自然環境 → 豊か

4. 出展新 ITe → 機能の分散化

[午後部]

むかいがおり 出張所まわり アイデアカイキ 2020年 10月11日 PM

《グループ発表》

1. 平坦な場所 → 出展新 ITe

2. JOTが → 活動できる

3. 自然環境 → 豊か

4. 出展新 ITe → 機能の分散化

A グループ [午前の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- **身近な自然環境が豊か** (◎×1枚、○×2枚)
 - ・ 自然環境が抜群
 - ・ 森林公園など散歩できるところがたくさんある
 - ・ 緑が豊か
 - ・ コロナ禍で遠くにいけない中、身近にあってよい散歩コースになっている
- **農産物の直売所が多い**
 - ・ 農産物の直売所が多い
- **溝の口駅方面へのバスの本数が多くて便利**
 - ・ 交通アクセスが良い
- **住民が穏やかで優しい**
 - ・ 住民が穏やかで優しいのは、みんな広い家に住んでいて余裕があるからではないか
- **自治会の人や活動が盛んで良い** (○×1枚)
 - ・ 自治会がいい
 - ・ 平自治会について、ごみ処理、住民対応、運動会などが良い
 - ・ 菅生台地域の感染予防対応の徹底
 - ・ コロナ対応を考えながら進めている
 - ・ 住んでいる人が住んでいてよかったと思えるようにしている
- **区役所からのコロナ対応のアドバイスや指示が的確で良い**
 - ・ 区役所、出張所の配慮、回覧、掲示シート、チラシ10枚ほどが自治会員、住民へ
 - ・ コロナ対応、様々な視点、アドバイスが素晴らしい

まちで困ったこと

- **トイレがない公園がある** (○×1枚)
 - ・ 公園にトイレがあれば良い
- **平地区：人が集まれる公園が少ない** (○×1枚)
 - ・ 公園が少ない
- **集会所で集まりにくい、広い場が少ない** (◎×1枚)
 - ・ 広い集会所が少ない
 - ・ 予約でいっぱい
 - ・ 土日が空いていない

- ・土日使える広いところが少ない

●**平老人いこいの家が坂の上であり行きづらく不便**

- ・センチュリー情報部「いこいの家」へは急な坂で老人にはたいへんに厳しい
- ・平老人いこいの家が不便

●**出張所を蔵敷交差点へ移転してはどうか（◎×1枚）**

- ・出張所を蔵敷交差点そばへ移動

●**蔵敷交番前交差点：車が混雑していて、高齢者が困っている**

- ・高齢者が困っている
- ・車が多い
- ・時間帯によって一方通行などにできないか

●**高齢者はコロナで外出機会が減り、運動や人とのコミュニケーションが不足している（◎×1枚、○×1枚）**

- ・町内会館などで卓球を楽しむことができなくなった
- ・地域として老人が多く坂道や交通面で外出回数が減り健康が不安
- ・自治会で公園体操をしている、週一回やりたい
- ・いこいの家でも人数制限をして体操をしていた
- ・楽しみをつくりたい
- ・コロナで高齢食事会、公園体操、防災訓練などが中止になった
- ・高齢者が外出しなくなった
- ・いままでの「あたり前」のありがたさを実感した

●**子どもや未成年への教育不足（◎×1枚、○×1枚）**

- ・子どもがあいさつをあまりしなくなった
- ・幼児、生徒へのしつけや教育が不足
- ・知らない子を注意しづらい
- ・高津区と比べてパトロールが少ない

●**幼児が少なく、出産対応をしっかりしてほしい**

- ・出産増加への対応が見えない

●**子ども会の会員が少なく、子どもの活動や会の数が減っている**

- ・子ども会の会員が少なくなった

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●皆が集まれる平坦な場があるまち

- ・行きやすい向丘出張所でも体操をやりたい

●コロナ禍でも可能な屋外での地域活動があるまち

●子どもや高齢者への声かけ活動でゆるやかなつながりがあるまち

- ・皆が子どもに対して自分の子のように接することができる関係になると良い
- ・子どもの見守り活動はすでに実施しているが、地域への緩やかな気配りが盛んになると良い

●豊かな自然環境とのふれあいを大切にしているまち

●先々には今の向丘出張所をいこいの家にできるといい（◎×1枚）

- ・皆が集まれるアクセスの良い、移動が平坦な場があると良い

B グループ [午前の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- 水沢：地域に開放した農園や自然が多いので、子どもが外でのびのび遊べる（○×1枚）**
 - ・新鮮な野菜が採れるところ
 - ・スーパーの商品の価格が安い
 - ・自然が多く子どもがのびのび遊べる
 - ・自然が多く動物が多い
 - ・外で遊ぶ場が多いのでコロナでものびのびできた
- 神木本町：地域包括支援センターが近くにあり、高齢者の生活について気軽に相談できるので心強い（◎×1枚）**
 - ・何かあっても地域包括支援センターと相談できること
 - ・生活の相談がいつでもできて心強い
- 日頃から活動をしているので、コロナ禍でも地域のつながりを感じた（○×1枚）**
 - ・情報交換などを通じて地域とのつながりを感じる
 - ・ママ友などはLINEで情報共有している
- コロナ禍の経済的支援が助かった**
 - ・地域協力券、Go-To、10万円支給など、経済的な支援に助けられた
- コロナ禍で普段はできなかったことに時間が取れた**
 - ・コロナ禍で時間が取れて、調べ物ができたこと
- 行き届いた教育への期待**
 - ・30人学級が整備され、行き届いた教育に期待

まちで困ったこと

- 水沢：子どもが増えているのに小児科が少ない**
 - ・小児科が少ない
- 水沢：尻手黒川道路沿いにバス路線が少なく移動が不便**
 - ・水沢2丁目よりバスが少ない
 - ・宮前平にはいけるが他のエリアには行きにくい
 - ・住まいと人口は増えているが、移動アクセスは悪いまま
- 平：坂が多いエリアは外出したくなくなる**

●市営高山団地は高台で日々の移動が大変なため、高齢者には住みづらい (○×1枚)

- ・出かけられるが、住居が高台にあるため高齢者は外出がおっくう
- ・バス停までの交通手段がほしい

●道路が狭く高齢者の買い物が大変 (○×2枚)

- ・高齢化が進み、免許の返納などもあり、買い物が難しくなっている

●趣味の集まりや交流ができず、仲間と会えない

- ・趣味のサークルやOB会などが中止になり、仲間と半年会えていない

●ウェブの情報が古く、まとまっていないので、子育てや遊び場の情報が探しづらい (◎×1枚)

- ・市や自治会など様々なホームページに情報が分散していて検索しづらい
- ・子育て、遊び場情報がほしい
- ・情報が古い

●情報発信が弱いため地域活動や支援サービスを知らない人が多い

- ・情報発信で地域活動の存在が知られるので、発信していない活動は知らない人が多い
- ・地域包括支援センターについて知らない人が多いことが課題

●回覧板が中止になり地域の情報が入らなかった

●コロナ禍でまちの機能が分散されていることが大切だと実感した (◎×1枚)

- ・まちづくりが一極集中では問題があると感じた
 - ・図書館、子どもの遊び場、住民サービスなどがバランスよく分散され、身近にあると良い
-

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●地域の様々な情報が集約され、行き届いたまち

- ・暮らし・子育て・サークル・相談などの情報が行き届いている
- ・今ある活動がもっと知られている
- ・地域活動に参加していない人もまちの情報を得られる
- ・「みやまえご近助さん」のように、地域の情報がまとまっている
- ・紙やホームページなどの多様な媒体で、地域活動に参加している人から活動をしていない人まで、多様な人に届くと良い

●これからも自然豊かな向丘

●暮らしを支える交通があり、高齢者から子どもまでがより暮らしやすいまち

- ・コミュニティバスやスーパーなどの民間企業と連携した小規模な移動手段が、地域での暮らしを支える

●高齢者でも使えるシンプルなITシステムを導入した使い勝手の良い出張所に！（○×1枚）

- ・IT化で高齢者でも使えるシンプルなかたちに
- ・デジタル化、Wi-Fi機能などで使い勝手のよい施設になってほしい！

C グループ [午前の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

●水の綺麗な平瀬川でリフレッシュや運動ができる（○×1枚）

- ・川の流れて見ていると心が安らぐ
- ・平瀬川の水が綺麗、散歩ができる
- ・緊急事態宣言下、子どもの運動のため平瀬川沿いをよく散歩した。信号がないので、散歩などによい
- ・水沢の森も素敵な場所

●水沢・平：農園があり、安心して屋外活動ができるとともに、おいしいとれたて野菜を楽しむ

- ・はぐるま稗原農園、小泉農園の畑での活動
- ・子どもと野菜などの収穫を楽しむ
- ・コロナ禍でも、近所で安心して屋外の活動を楽しむ場所
- ・野菜自販機がある
- ・温室で収穫した野菜を洗わずに食べられる
- ・矢澤水耕農園の「とれとれ野菜」が味わえる

●平：相談や交渉をして買い物ができる大型家電店がある

- ・相談や交渉をして買い物ができるところがよい

●神木本町：神木山等覚院でラジオ体操や子ども会の活動をしている

- ・神木山等覚院では、ラジオ体操や子ども会の活動をしている

まちで困ったこと

●南平台：ランチしたい観光客を逃している

- ・NEXCO 中日本コミュニケーションプラザに来た観光バスが立ち寄れる食事場所がない
- ・まちにお金を落とす機会を失っているのでは、もったいない

●NEXCO 中日本コミュニケーションプラザは日本の高速道路の歴史を伝える施設だが、子どもも大人も楽しめ、赤ちゃんルームなども整備されているので地域内外の人にもっと知ってほしい（◎×1枚）

- ・高速道路の歴史がわかる場所
- ・近所で孫と一緒に楽しめる場所
- ・最近赤ちゃんルームがつくられたので、そのことももっと知ってほしい

●**スポーツセンターまでは遠く、身近には公園があまりないので運動できる場所が少ない**
(◎×1枚)

- ・スポーツセンターまで遠く、運動する気が起こりにくい
- ・向丘地区は宮前地区に比べて公園そのものが少ない

●**公園にトイレがないことが多く、外出しづらさの一因になっている** (○×1枚)

- ・外にトイレがないと、外出しづらくなる
- ・コロナ禍でお店もトイレを貸してくれなくなったので、公園などにトイレがあると助かる
- ・公園の規模が小さいのでトイレがないことが多い
- ・男性トイレにおむつ台があると、おじいちゃんも孫と一緒に出かけやすくなる

●**コロナ禍では、子どもの居場所が見つけづらく、子どもと触れ合いづらくなった** (○×1枚)

- ・袋小路の道路で遊んでいた
- ・子育て支援センターも休みになり、特に乳児は外出機会が減って発達に影響があるのでは？
- ・子どもをあやす大人の顔がマスクで見えないことも、子育てでは大きな問題
- ・通りすがりに赤ちゃんをあやしたり、子どもと触れ合うこともしづらくなった

●**コロナ禍では活動中止によるシニアの体力低下が激しかった**

- ・老人クラブ活動がほとんど中止になり、シニアの体力維持ができなくなった

●**イベントが軒並み中止となり、楽しみの場がなくなるとともに、準備などやることがなくなった** (○×1枚)

- ・毎年6月に開催している「ゆ〜ずパーティー」が中止になった。毎年準備に奔走しているので、楽しみの場も、準備で時間を使うこともなくなり、やることがなくなった
- ・またみんなで楽しく、老若男女が集えるようになるとよい

●**出張所を使った会議ができなくなったので、換気システムなどでコロナ禍に対応できるとよい**

- ・出張所の大会議室で毎月1回老人クラブの会長会議を開催していたが、会議室が使用できなくなった。コロナ禍でも活動できる会議室があるとよい
- ・フェイスシールドもあるが、換気システムなどハード面でコロナ対応できるといい

●**シニアのデジタル化を進めるのは難しくコロナ禍でも、どうシニアの外出機会を増やすかが課題。地域として外に出られる工夫があるとよい** (◎×1枚)

- ・老人クラブは平均年齢が80歳なので、そもそもデジタルに親しんでいる人が少ない
- ・人と話す機会が減り、ふさがちになる人もいる。Zoomなどでは話の掛け合いが難しく、盛り上がりづらい
- ・シニアの活動にどうデジタルを浸透させるかは課題。3分の2はメールが届くがPCを持っていない人もおり、使用頻度が低いのでPCを新しく買うのは難しい状況がある
- ・地域として外に出られる工夫があるとよい

●病院へ行きづらくなった

●赤ちゃんルーム、授乳室などがどこにあるか、まとまった情報がどこで得られるかわからなかった（○×1枚）

- ・遠出のときトイレ、授乳などで必要
- ・コミュニケーションプラザにつくられたが知られていない
- ・「みやまえ子育てガイド とことこ」を見ると子育てに関するまとまった情報があり、一般向けバージョンもあるとよいのではないか

●平：八百屋がなくなった

- ・八百屋がなくなった

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●シニアがいつまでもイキイキ暮らせるまち

- ・孫と一緒に出かけられるといい
- ・外出できるよう、外出しやすくなる情報、トイレ情報（子ども向け、誰でもトイレなども含む）、公園情報、ベンチや屋根があって食べられる場所情報、駐車・駐輪場情報、段差の配慮情報、交通情報などがひとつの冊子にまとまっていて、外出を後押しできるとよい
- ・シニアに健康でいてもらうことが大切（社会保障費が下がる）

●雨の日でも、子どもが屋根の下で大はしゃぎで遊べるまち

- ・コロナ禍で子どもの居場所が少なくなった
- ・都市公園法をゆるくするなどして公園を増やせるとよい
- ・高架下公園があるが、高架下は雨の日も遊べるのでよい
- ・東高根遺跡に大きな茅葺き屋根をつくってはどうか
- ・身近に運動できる、川や畑などリフレッシュの場が大切

●みんなで楽しく安全に、日常的に老若男女が集えるまち

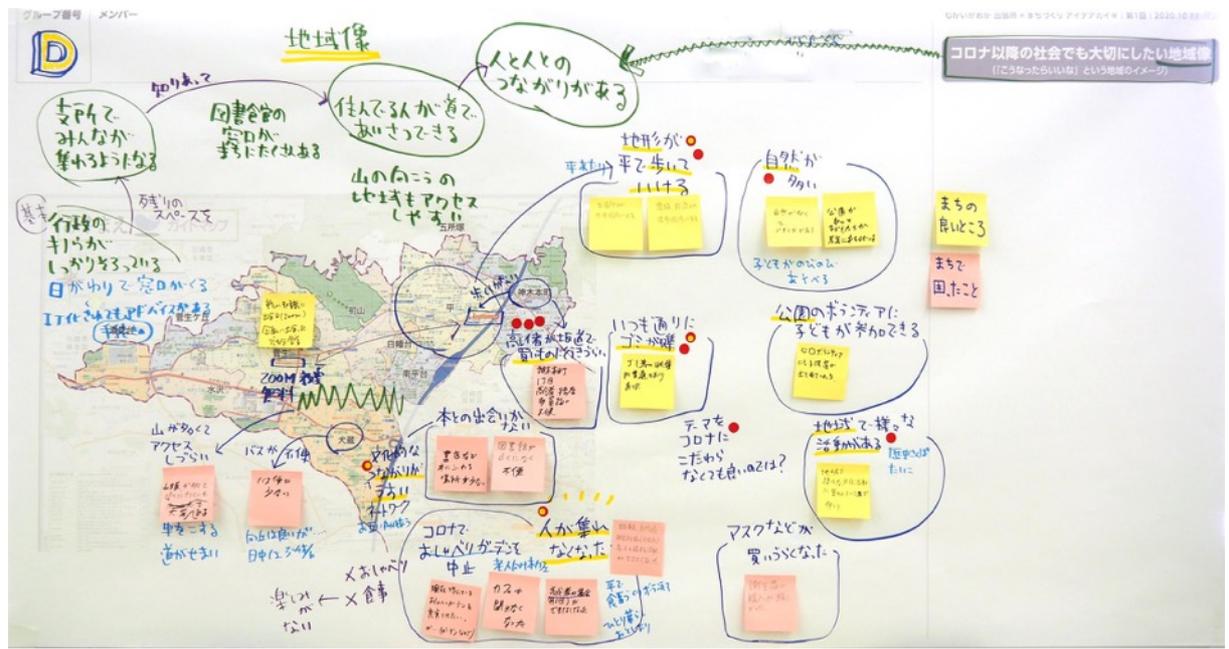
- ・コロナ禍でも活動中止、イベント中止によって集いの場がなくなってしまった
- ・日常的に安全に集えるといい

●偶然の出会いがあるまち

- ・活動・イベント中止によって、偶然の出会いもなくなってしまった。偶然の驚きは暮らしの中で大きな楽しみなので、大切にしたい

D グループ [午前の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- 菅生分館で無料の Zoom 教室が行われている**
 - ・ Zoom 教室で新しい知識に出会えた
 - ・ 企画に出会えた
- 平：地形が平なので歩いて移動しやすい (◎×1 枚、○×1 枚)**
 - ・ 出張所が徒歩圏内にある
 - ・ 農協、お店が徒歩圏内にある
- 自然が多いので安らぎを感じるとともに子どもは元気に遊べる (○×1 枚)**
 - ・ 自然が多くやすらぎがある
 - ・ 公園があり子どもたちがのびのび遊べる
- 公園のボランティアに子どもが参加できるようになった**
 - ・ 公園ボランティアに子どもたちが出てくれる
- いつもどおりにごみ収集をしてくれる (◎×1 枚、○×1 枚)**

まちで困ったこと

- 犬蔵付近：坂が多く、道が狭いアクセスが大変**
 - ・ 山、坂が多く近くに行くのも大変
 - ・ 道が狭く車をこする
- 犬蔵：バスの本数が少なくて不便**
 - ・ 向丘は良いが、日中は 1 時間に 3～4 本
- 神木本町：高齢者が坂道で買い物に行きづらい (○×3 枚)**
 - ・ 神木本町一丁目は高齢者、独居の買い物が不便
- 書店や図書館が近くにないので、本を通じた文化的なつながりやネットワークが築きづらい (◎×1 枚)**
 - ・ 本との出会いがない
 - ・ 書店が少ない
 - ・ 図書館が近くになく不便

●高齢者が地域で集まれなくなり、楽しみがなくなってしまった (◎×1枚)

- ・おしゃべりガーデン (老人向けカフェ) が中止
- ・カフェが開けなくなった
- ・高齢者の集会ができなくなった (平で食事づくりボランティア、一人暮らしお年寄りむけ)
- ・おしゃべりや食事がNGで楽しみがない
- ・民生委員、自治会、地区社協など人と接することができなくなった

●マスクなどが買いづらくなった

- ・衛生用品の購入が難しくなった

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●行政の機能がしっかりそろっているまち

- ・日替わりで窓口が来る
- ・IT化されても手続きのアドバイスがある

●出張所でみんなが集えるようになるまち

●住んでいるひとが道であいさつできるまち

●人と人のつながりがあるまち

●山の向こうの地域もアクセスしやすい

●図書館の窓口がまちにたくさんある

E グループ [午後の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- 平：他の地域に羨ましがられるほどバスの本数が多くて便利（○×1枚）
 - ・ 駅からは遠いがバスでの便が非常に良いため、他の地域の方に羨ましがられる
- 向丘出張所の区民活動支援コーナーが活動をするうえで便利
 - ・ 支援コーナーは日頃の活動に便利で活用している
- 神木本町：寺社仏閣が多いので自然や文化が豊か
 - ・ 神社や仏閣があり、お祭りなどの様々な行事が人の触れ合う機会になっている
 - ・ 等覚院（つつじ寺）、妙楽寺（あじさい寺）、白幡八幡大神など
- 都心でありながら自然が豊か（◎×1枚）
 - ・ 都心への交通が便利なのに自然が多く残っていて、たぬき、ザセンソウ、水芭蕉なども見られる
 - ・ 大きな緑地が近くに2箇所ある
 - ・ 自然環境
- 市民のチカラで安心・安全なまちを保っている（○×1枚）
 - ・ 安心・安全なまち
- 平：暮らしを支えるまちの基盤となる機能が近くにあること（◎×1枚）
 - ・ 郵便局、金融機関やATM、スーパーなどが身近にあること
- 平：こども文化センターや老人いこいの家が近くにあること（◎×1枚）
 - ・ こども文化センターが近くにあり、子育てで大変助かった
 - ・ いこいの家、こども文化センターが近い

まちで困ったこと

- コロナでイベントが中止になり、地域や子どもとのつながりが途絶えてしまった
 - ・ コロナでこども文化センターでのイベントや集まりが中止になり、子ども同士のつながりや子どもとの接点が切れてしまったので、今後またどのようにつながりを再構築するかが課題
 - ・ 自治会活動に支障がある
 - ・ 地域の祭り、盆踊りが中止になった
 - ・ ミニデイサービスがなくなり、月1～2回のお年寄りの外出機会が制限された

●活動・練習の場がコロナでなくなってしまった（○×1枚）

- ・高齢者施設での演奏ボランティアが当分不可能と思われる
- ・10人程度の集会場所が無くなってしまったので、人数を制限して分割して練習している
- ・今までは普通にできていた体操などが、密を避けるために半数で、回数を増やして行わなければならない

●コロナ禍でも工夫しながら安全に利用できる公共スペースがあると良い

- ・自由に利用できる公共のスペースが少ない
- ・今後の地域交流や集い方の工夫が必要

●図書館が近くにない（◎×1枚、○×2枚）

- ・図書館を利用しているが近くにない
- ・近くに図書館がない
- ・本の受け取りや返却は出張所でできるようになると良い

●区役所の移転に伴い、身近なところで行政的手続きができるかどうかや区役所への移動が心配（◎×1枚、○×1枚）

- ・とくに具合が悪い時などに、医療保険の手続きが出張所でできないことが心配
- ・平から現在の区役所・図書館がある宮前平までは頑張れば歩いていける距離だが、鷺沼に移転したら歩いては行けなくなる
- ・バスで行けるようになるか心配

●出張所の支援コーナーへの時間外アクセスなどが、バリアフリーになると良い（○×2枚）

- ・出張所のバリアフリー化は「待った無し」なので、実現してほしい
- ・向丘出張所をバリアフリー化したい
- ・時間外に支援コーナーを使う際はエレベーターが使えず階段のみなので、車椅子の人は使えない

●戸建住宅の増加の影響で緑地が減っていることが心配

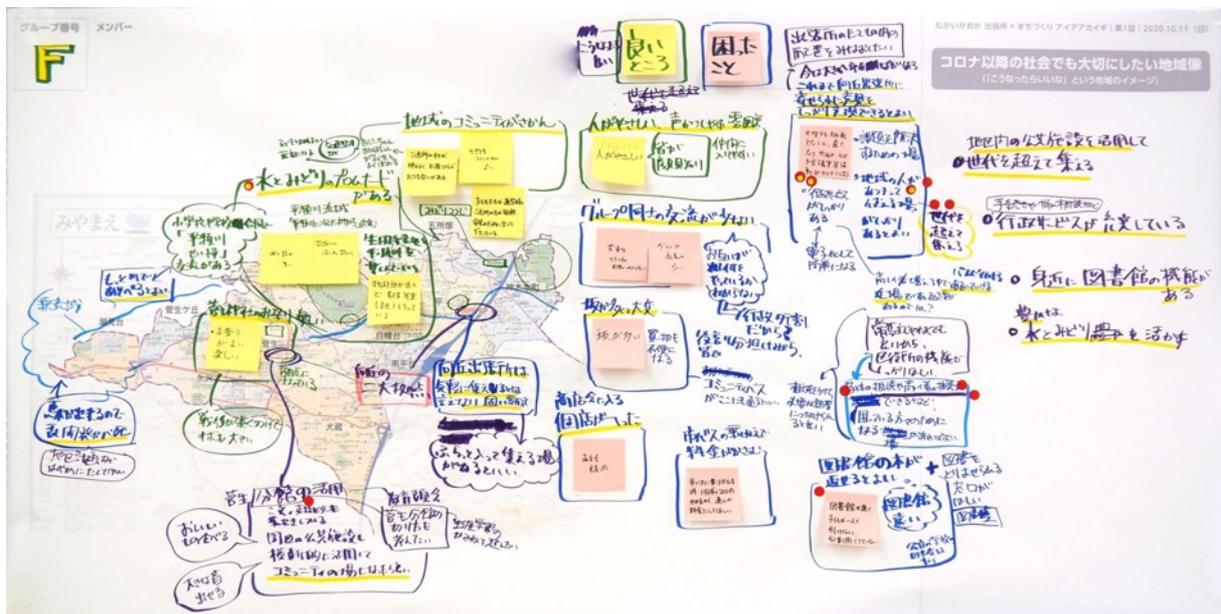
- ・緑地が減り、戸建住宅だけが増えていること

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

- 自然が豊かな向丘地区を守り育てたい
- 新たなカタチで安全に地域の交流やイベントができる屋内と屋外の場があるまち
 - ・少人数で実施する工夫をみんなでする
 - ・屋外で活動できる空間がある
 - ・出張所もコロナ禍での地域の交流を支える場所に
- 出張所や区民活動支援コーナーが幼児から高齢者までが一緒に利用できる、身近な地域の拠点に
 - ・図書館や市民館のような機能を備えた拠点に
- ITを活用した柔軟な対応ができる出張所に
 - ・人員や運営体制を増やさずにITを活用して、出張所でも行える手続きなどが充実すると良い
- 誰もが活用できるバリアフリーの出張所に
 - ・とくに障がいがある人にもアクセスしやすいようにバリアフリー化されている

F グループ [午後の部]

まとめの読み方 | ●くくりの言葉 ・付箋に書かれた内容やご意見
 各参加者が「重要な意見」と思うものを3つ選びシール投票をした。
 最も重要なものは◎、2～3番目に重要なものは○



コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- 平瀬川を中心に、水と緑のプロムナードがある (◎×1枚)
 - ・水と緑がある
 - ・平瀬川流域「平瀬川にそった村から」という本がある
 - ・小学校・中学校「平瀬川清掃」を通じた交流がある
- 生田緑地と平瀬川を楽しんでいる
 - ・生田緑地が近いので、散歩などで楽しませてもらっている
- 神木山等覚院のツツジとみどりがきれい
 - ・みどりとツツジがきれい
- 祭りや子どもの見守りなど、地域のコミュニティ活動が盛ん
 - ・ご近所の方々が仲良く、お祭りなどを通じておつきあいがある
 - ・おじいちゃん・おばあちゃんが子どもとよく関わっている
 - ・地域コミュニティが良い
 - ・子どもたちの通学時にご近所の方が毎朝安全のために立ってくださっている
- 人が優しくて声かけしやすい雰囲気
 - ・人が優しいので、仲間に入りやすい
 - ・みんなが顔見知り
- 菅生神社のお祭りが楽しい
 - ・お祭りが良い、楽しい
 - ・戦後から長く続いていて規模も大きい
- 向丘出張所と菅生分館は地域の二大拠点になっている
 - ・菅生分館のエリアは拠点になっている

まちで困ったこと

- 区役所の移転は向丘地区の行政サービスへのアクセスや活動に影響がありそうで心配 (◎×2枚)
 - ・区役所が移転するとなると、遠くなり、行政サービスや会議室等の活動がやりにくくなる
 - ・今後も高齢者が増える一方なので、行政サービス機能はバスや徒歩で行ける近場に必要
- 世代を超えて地域の人が集まって使える場がしっかりと良い (◎×1枚、○×4枚)
 - ・地域の課題を解決するための相談できる場が必要

- 向丘出張所は気軽に集えるとは言えない硬い雰囲気
 - 出張所の建物内の配置を見直したい
 - ・出張所の建物内の諸室が少し大きいのが気になっている。仕切るなどして、みんなが使いやすい配置にしたい
 - これまで向丘出張所に寄せられた意見をしっかり実現できると良い
 - もっと平瀬川で遊べるようになると良い
 - 横浜市営地下鉄の新駅が設置されるので乱開発が心配
 - ・地区計画などを早めに立ててほしい
 - 商店会に入る個店が減った
 - ・商店会の会員が減った
 - グループ同士の交流が少なく、お互いがどんな活動をしているかわからない
 - ・共通の地域の目標がわからない
 - ・グループの交流が少ない
 - ・行政が縦割りだから？役割分担しながらみんなで
 - 坂が多くて大変
 - ・坂が多くて買い物も不便
 - ・コミュニティバスが向丘地区にも通ると良い
 - 市バスの乗り継ぎで料金がかさむ
 - ・市バスに乗り換える時、1回ずつ運賃がかかるので、通しの料金にしてほしい
 - 子どもの相談や高齢者の相談ができるなど、困っている方々のためになる場が少ない(○×3枚)
 - ・相談を受けて必要な部署につなげられると良い
 - 図書館が遠い(○×1枚)
 - ・図書館が遠く、子どもが1人で行けない。全く利用できていない
-

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●地区内の公共施設を活用して、世代を超えて集えるまち

- ・ふらっと入って集える場があると良い
- ・向丘の二大拠点、向丘出張所と菅生分館の活用
- ・菅生分館のエリアには、こども文化センターや地域包括支援センターがあるので、周辺の公共施設も横断的に活用して、コミュニティの場になったら良い
- ・おいしいものを食べられたり大きな音を出せたりできる場所があると良い
- ・菅生分館は教育施設の枠内でしか活用されないが、生涯学習の垣根を超えて、菅生分館のあり方も考えたい

●手続きや悩み相談など、行政サービスが充実している

- ・常駐じゃなくて良いので、出張所に区役所の機能がほしい
- ・行政サービスがしっかりあると良い
- ・行政サービスは電子化して簡単になる

●身近に図書館の機能がある

- ・図書を取り寄せられる窓口が欲しい
- ・図書室など、図書館のような機能があると良い
- ・返却ポストがあると良い

●豊かな水と緑を活かしたまち

コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

- 地域に自然が多くいつでも利用できる** (◎×1枚、○×1枚)
 - ・ 菅生緑地、水沢の森
 - ・ コロナ禍の運動不足に散歩が役立った
- 北部市場が地域の魅力になっている**
 - ・ 北部市場で買って 3F で食べられる
- 神木本町商店会から見舞金をいただいた**
 - ・ 神木本町商店会から見舞金をいただいた
 - ・ 対応がはやくて助かった
- 高齢者も増えているが若い世代も増加している** (○×1枚)
 - ・ 若い世代が増えて来た
 - ・ 戸建てが増えている
 - ・ 小学校では1年生が一番多い
- ネットが見られないシニア向けに情報発信ができ、多くの人が寄稿してくれた**
 - ・ 町会での情報発信ができなくなっていたので「みやまえいきいき通信」というシニア向けの情報誌を始め、多くの人が寄稿してくれた
- チャットやメッセージ等を通じたオンライン会議特有の交流の良さがよく分かった**
 - ・ 動画配信で健良クラスをやった時に、応援メッセージやチャットで参加してくれた
 - ・ オンラインによる会議（Zoom 使用）を経験できた
 - ・ FUNSTV で小学校への配信も行った
- 地域にスタジオ、音楽関係者が多い**
 - ・ 黒沢スタジオなどがありプロが多いはず
 - ・ 神木本町にはヒット曲の作曲家がいる
- 予防に気をつけるようになった**
 - ・ 手をよく洗うようになった
 - ・ マスクの着用が習慣になった

まちで困ったこと

- 神木本町：商店会が存続できなくなった** (○×1枚)
 - ・ 後継者がなく今年解散
 - ・ 若い人のお店が商店会に入らず、飲食イベント「梶バル」に参加する

●祭りや盆踊りが中止になり、つながる機会が減ってしまった

- ・町内運動会や祭りがお休みになった
- ・つながりは大事

●地域の活動ができなくなった (◎×1枚、○×2枚)

- ・まちづくり協議会の部会の活動ができなくなった
- ・福祉活動がなかなかスタートできない
- ・学校や町内会館などが使えない時期があり、健康教室などができなくなった
- ・合唱の練習ができなかった

●地域で活動できる広い場所がない

- ・集まれる広い場所がない
- ・情報発信もできていない

●地域の活動が見えておらず、活動している人同士がつながっていない(◎×2枚、○×2枚)

- ・地域で活動している方々が見えない
- ・とくに若いプロ人材とシニア層が繋がっていない
- ・バラバラに活動している

●子どもたちの居場所がない

- ・大きい施設はあるが、無料で行ける場所は公園しかない

●都心に近いのでコロナが心配

- ・都心への通勤者が多く心配
- ・道路にマスクが捨てられている
- ・コロナワクチンを無料化してほしい

●コロナで生活習慣が変わった

- ・手洗いやマスクの着用が習慣になった
-

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

- 向丘出張所を拠点に地域の活動をつなげていくまち
- 情報と観光の拠点になる
 - ・緑地やイベントなどの地域資源を紹介する
- 子どもたちの居場所がある
 - ・大きい拠点を捉えて活かす
 - ・話をきいてくれる人がいる
 - ・寺子屋のような場所
- Wi-Fi、IT 機器が充実している
 - ・スタジオが使える
- スポーツや音楽などの地域の人材資源を生かしたつなげる仕組みづくりがある
 - ・大学院生、スポーツ選手、トレーナー、音楽家
 - ・20代～30代で何かしたいがチャンスがない人たちがいる
 - ・寺子屋でいろいろな人が手伝ってくれる
- 学校で少人数教育ができるようになると良い

コロナ禍に入った地域の暮らしや活動の中で感じる、まちの「良いところ」、まちで「困ったこと」

まちの良いところ

●繁華街などがなく、穏やかで安心でき、住みやすい（○×1枚）

- ・特に心配するような店舗もなく、静かなまちであること
- ・住みやすい穏やかなまち
- ・優しさを感じるまち
- ・地区外から赴任して来た小中学校の先生の多くが、子どもが「素直で優しい」と言う
- ・戸建ても多く、マンションが少ない、のんびりしたまち

●地域の支えで、馴染みの店がコロナ禍を生き残った

- ・馴染みの飲食店が地域の人の配慮で経営を続けることができた

●地域をつなぐ行事や活動が中止になり、地域のつながりの大切さを実感した

- ・地域のつながりの活動が多い

●緑や自然に触れる場所が分散してたくさんあり、平瀬川沿いの東高根公園から水沢の森までの散歩コースなど、散歩にちょうどよい環境がある（◎×4枚、○×1枚）

- ・東高根森林公園は運動場があるほか、散策には非常に良い場所
- ・生田緑地森林公園、菅生緑地、とんもり谷戸など、緑や自然が多い
- ・向丘遊園跡地に近く、自然が多い
- ・静かなまち
- ・住宅地に緑が多い
- ・平瀬川の川沿いが遊歩道になっている
- ・平瀬川の源流域の水沢の森から東高根森林公園までの約5kmが散歩道として役立った
- ・5kmと散歩にちょうど良い距離で、道中には星野コーヒーなどの良い感じのカフェもある
- ・春は桜も見られる
- ・東高根森林公園では、野球をしている子どもの声などが聞こえるところがよい
- ・出張所周辺は平地が広がっている
- ・平瀬川は向丘の母なる川、宝

●地域に開かれた花苗の直売所があり、生産者と話をしながら買い物できる（○×1枚）

- ・花の停留所（山田花園、農家が地域に開く）
- ・花苗や野菜の直売所で生産者と話をしながら買い物できる

●神木本町：神木山等覚院など歴史があるお寺がある

- ・等覚院

●**コロナ禍でも工夫しながら、町内会館で活動を続けた**

- ・町内会館で卓球などの老人会の活動を行なっている。参加人員を区別して、ソーシャルディスタンスを確保

●**区民活動支援コーナーを継続してほしい！（○×1枚）**

- ・区民活動支援コーナーに住民の活動に欠かせないので、存続してほしい
- ・今は助けられている

まちで困ったこと

●**地域をつなぐ行事が中止になり、地区を超えた交流もなくなってしまった（○×2枚）**

- ・コロナで盆踊り、運動会やお祭りなどの自治会行事が中止になってしまった

●**2月からカフェが中止になり、情報交換ができなくなって地域の人の状況がわからなくなってしまった（○×1枚）**

- ・町内会でカフェを毎月行っていたが、2月以降は中止になり、お互いのコミュニケーションや交流ができていない

●**世代間交流できていた料理教室がコロナ禍で中止になってしまった**

- ・地域の人が集まって料理をつくって食べる

●**コロナ禍で外出が難しくなった**

- ・外出することが難しくなった。家で過ごすことが多い

●**文化施設が少ない（○×1枚）**

- ・文化施設が少ない

●**ゆっくり新聞や雑誌を読むスペースや談話できる図書館機能があると良い**

- ・しっかりした図書館がほしい
- ・図書館の利用が不便になった
- ・特に複数の新聞の閲覧ができないこと
- ・コロナ禍で閲覧スペースの使用が制限されている
- ・移動図書館はあまり使われていないのではないか

●**宮前区全体としてまとまり感を持つためにも、交通の便をよくする必要がある（◎×1枚、○×2枚）**

- ・鷺沼は歩いては絶対に行けない場所。公共交通機関を使うと、一度溝の口に出ないと行けないのでかなり遠回りになる。バスなど公共交通機関で向丘地域と鷺沼周辺の行き来がスムーズにできないと、地区間交流は難しい
- ・宮前区内で分断されていると感じる
- ・交通の便が悪く鷺沼に出るのが難しい

●出張所の行政サービス機能が回復すると良い

- ・10年前は全ての機能が出張所にあったが、機能が少なくなるとともに拠点感も薄れているのではないかと

●出張所の存在感を宮前区内で高められると良い

- ・宮前地区で向丘出張所と言っても、全く理解されない。向丘地区の拠点として、出張所の存在感を高めたい
- ・買い物は溝の口、たまプラーザ、二子玉川でよいので、買い物できる場所がほしいわけではない

●近所に在宅ワークができるワークスペースがない

- ・テレワークが進んだら家の外でのワークスペースがあると良い

「こうなったらいいな」と思う向丘地域のイメージ

●子どもからシニアまで、豊かな自然環境の中で暮らし続けられるまち

- ・コロナ禍でも集まれる場所が必要

●宮前区全体として地区間の交流を続けるために、交通の便が良いまち

●地域をつなぐたくさんの行事・活動をもっと盛り上げる仕組みのあるまち

- ・農家の若手が頑張って地域の人に売りたいという気持ちで活動しているので応援したい
- ・地域通貨など活動を応援する仕組みがあると良い
- ・SNSの情報発信をしているが、様々な世代に情報が届くと良い

●地区の核として出張所の存在感と集約力が高いまち

- ・野菜の直売が出張所でできてもよい
- ・楽しい、行きたい、おしゃれな場所へ